

コンポジション（構成）		
ポイント		音楽との関係でプログラムをどう設計・構築するのか。
定義		さまざまな種類の動きを意図をもって組み合わせる，独創的に組み合わせる，練り上げるなどして，調和，統一感，空間，形式，音楽構造とあらゆる面で全体として意味のある形に仕上げる事ができているか。
基準		説明
1	多次元的な動きと空間の利用	<p>異なる平面（高，中，低，斜め）に沿い，あるいは，それを横断するように，流れるようにコントロールして動くこと。</p> <p>空間を利用する能力。</p> <p>ペア・スケートティング，アイス・ダンス，シンクロナイズド・スケートティングでは，魅力的に設計された動きの創造にスケーターの全員が貢献すること。</p>
2	要素中および要素間のつながり	<p>変化に富んだ複雑な身体やスケートの動き（ホールド，動きの種類，長さが変わるなど）によって要素同士を完全につなぎ，動きのシーケンスを中断することなく，幅広い能力を示すこと。</p> <p>「要素－動き－要素」というブロックを「動きの単位」と呼ぶ。動きの単位において，要素は動きのシーケンスの一部となる。</p>
3	音楽のフレーズや表現形式を反映した振り付け	<p>表現形式とは，音楽構成の構造と構成を指す。</p> <p>フレーズとは，それ自体が完全な音楽的意味を持つ音楽的韻律の単位を指す。</p> <p>動きの単位は，一つひとつが音楽のフレーズや表現形式に対応する。</p> <p>コレオグラフィックなフレーズは，その開始からクライマックス，終了まで音楽のフレーズに従うこと。</p>
4	パターンと氷面の十分な利用	<p>氷上における動きの単位の配置が魅力的・創造的であること。</p> <p>プログラムの設計および配置が氷面全体をカバーしていること。</p> <p>ペア・スケートティング，アイス・ダンス，シンクロナイズド・スケートティングでは，魅力的なパターンの創造にスケーターの全員が貢献すること。シンクロナイズド・スケートティングでは，隊列やシンメトリーを保つ能力を含む。</p>
5	統一感	<p>あらゆる部分が適切に組み合わせられて統一感のある全体となっており，完全性が感じられること。</p> <p>ペア・スケートティング，アイス・ダンス，シンクロナイズド・スケートティングでは，構成をクリアにするという目的の達成にスケーターの全員が貢献すること。</p>

## プレゼンテーション（表現）

<b>ポイント</b>	音楽との関係でプログラムがどのように演じられているか。
<b>定 義</b>	音楽と構成を理解し、心を込め、全身かつ全力でそれを表現できているか。

<b>基 準</b>		<b>説 明</b>
<b>1</b>	<b>表現と投射</b>	<p>スケーターは、プログラムに全身で関与し、音楽的な選択と構成のアイデアに導かれた、あるいは、規程や当該ダンスのスタイルに求められている雰囲気や感覚、イメージ、リズム、スタイルを表現・投射すること。</p> <p>身体とエネルギーの明快な表現により感覚を伝えること。</p> <p>観客をつかみ、感動をもたらす能力。</p>
<b>2</b>	<b>エネルギーや動きの多様さ、メリハリ</b>	<p>意味を強める、および／または、アクセントや音楽的ニュアンスを強調する動きの導入。</p> <p>力強さや動きはプログラムを通じて変化すべきである。</p>
<b>3</b>	<b>音楽に対する感受性、タイミング</b>	<p>音楽およびその要素（メロディ、リズム、和音、テンポ、強弱、音と音のつながりに様々な表情をつける）の特徴に応じて正確かつ一貫した動きができる能力。</p> <p>ステップや動作は、はっきり認識できる場合、あるいは規程や当該ダンスのスタイルによって求められている場合は音楽のタイミングに従う。</p> <p>音楽的な細部、アクセント、ニュアンスの理解を示す動きの技巧。音楽を適切に／意図をもって動きに転換していること。</p>
<b>4</b>	<b>ユニゾン、一体性、空間把握</b> (ペア・スケーティング、アイス・ダンス、シンクロナイズド・スケーティング)	<p>一体となって演技すること。</p> <p>スケーターそれぞれが音楽に対する感受性を示し、表現を目的に互いに調和しあう形でスケーター同士が作用し合う能力。</p> <p>スケーターは等しい能力と技量を持ち、コンポジションを演技する責任を等しく分担しなければならない。また、相手がどこにいるのか、目で確認することなく互いに認識できなければならない。</p>

スケーティングスキル（技術）		
ポイント	スケーティングと動きのテクニック.	
定 義	ブレードと身体をコントロールし、さまざまなステップ、ターン、スケーティング動作などを行うスケートらしい動きができていますか.	
基 準		説 明
1	多彩なエッジ、 ステップ、ターン、 動き、方向	エッジ、ステップ、ターン、身体の動き、スケーティングの向きなどが多様であること ：フォワード、バックワード、時計回り、反時計回り.
2	エッジ、ステップ、タ ーン、動き、 身体コントロールの 精度	エッジ、ステップ、ターン、身体の動きをそれぞれ正確かつ完全に行う能力。 精度とは、質の高い実行と正確性を指す。 エッジは、ブレードが氷に触れる瞬間から正しくなければならない。 動きの面にかかわらず、体幹がコントロールされていると動きがよくなる.
3	バランスと なめらかな滑り	ブレードを氷の上でなめらかに滑らせる能力。 ブレード上でバランスが取れていて、その結果、ブレードや動きがコントロールされていること。 ブレードが氷の上で容易に、スムーズに動いていること。 基本的に片足で滑っていること（両足で滑ること自体は可）。 バランスを保ち、コントロールし、ブレードを氷の上でなめらかに滑らせることでスピードを保つ。 長いディープ・エッジは、短いフラット・エッジよりも難しい.
4	流れ	膝や足首を深くなめらかに動かし、最終的に、調和を保つ形でスムーズかつ楽々と身体全体を動かす能力。 ある動きから別の動きへ、あるいは、ある動きのコンビネーションから別のコンビネーションへ、流れるように楽々とトランジションすること.
5	パワーとスピード	片足から別の足へと踏み換える際（ダイナミック・ストロッキング）に加速し、スピードをコントロールする能力。 加減速を示す能力と、スピードに乗って楽々とさまざまなスケーティングを行う能力.